

辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会 <<2016年7月16日・No48>>

連絡先…森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



映画[標的の村]の
東村高江で

伊波洋一さん大勝の翌朝、ヘリパット工事再開

来週には全国から機動隊 500 人が

7月11日午前6時、機動隊約100人・民間警備員約20人が、北部練習場のメインゲート周辺で、住民らが集会などに使っていた空き地を柵で囲む作業を行いました。この時、住民と県の機動隊が、何度ももみ合いに。12日はプレハブの資材などを搬入。13日は大型発電機など、車両32台が基地内に。14日は、水タンクなどを乗せた車両30台以上が基地内に入りました。

地元の新聞には、政府は、①県の提訴。②シュワブ陸上工事。③高江ヘリパット工事の3計画を同時に進めることで、県側への圧力を強める構えだと書いていました。



高江の様子(知事の写真も含め、琉球新報社の写真を転載)

《翁長知事も強く批判》

選挙で民意が示された数時間後に、用意周到にこういうことをやるのは、県知事としては容認しがたい。

一連の基地問題で真摯に話し合い、信頼関係を築く中で物事を進めていくという時に、こういうことをやると、県民の怒りは大変大きいものがあるだろう。

県がオスプレイの配備撤回について再三申し入れている中で、今のような状況は大変残念だ。



山城博治さんから「8月7日は日帰りにします」と緊迫した電話が

北九州連絡協議会の第2回総会の記念講演を引き受けていただいた、沖縄平和運動センター議長・山城博治さんから、事務局に電話が入りました。「1泊どまりで北九州に行く予定だったが、その日のうちに帰らなくては。来週には全国から機動隊が500人来る。すみません」と、緊迫した声の電話でした。

ヘリパッド建設抗議行動の世話人を務める、山城博治さんは「数の力で強行するのは許せない恥ずべき行為だ。ぜひ現地に駆け付け、ヘリパッドの建設を阻止し、森を守る闘いに参加協力してほしい」と県民に呼び掛けています。



いつも元気な山城さん